

Contents

6月定例会	P2~3
一般質問	P3~10
要望活動・陳情・請願	P11~12
政務活動費	P13
議会報告会	P14~17
市民からの投稿	P18

※「ほっとだて」のロゴデザインは、保原高校美術部の生徒さんが作成しました。



三代伊達義広よしひろ (1185~1250)

伊達家に伝来する「天正系図」などで、伊達家三代として登場する人物である。しかし、その動向を伝える正確な史料はほとんどない。

『吾妻鏡』嘉禎四年(1238)二月十七日条に記される鎌倉幕府將軍藤原頼経上洛の行列のなかに、「伊達判官代」との名があり、この人物に比定されている。また江戸時代に編纂された『伊達正統世次考』によれば、梁川八幡神社の記録に拠るとして、栗野の大館に居城を構えたとしている。

# ◆ 6月定例会 議案審議 ◆

会期21日間 6月8日～6月28日

## 伊達市のこんなことが決まりました。

6月定例会の議案は

人事	3件
条例制定	2件
条例の一部改正	3件
補正予算	3件
その他	7件
<b>計</b>	<b>18件</b>

この中から3つを **Pick up**

※全ての議案名と結果は、伊達市議会ホームページをご覧ください。

### Pick up 1

**国民健康保険税率が引き下げられます。**

国保税を算出する医療分等の按分率の改正により、引き下げになります。

また、所得が低い世帯に対する軽減措置が拡大されました。

### Pick up 2

**伊達屋内こども遊び場新築事業が始まります。**

伊達市細谷地内に、子どもたちが自由に遊び、学ぶことのほか、保護者の子育ての悩み相談や情報交換ができる施設として建設されます。



伊達屋内こども遊び場完成イメージ

Pick up **3**

梁川地域に「まちの駅」を新築整備  
します。

梁川城址など、伊達氏関連の歴史資源が点在している梁川地域の、街中回遊の拠点として大町地内に整備します。



(梁川歴史と文化のまちづくり整備事業)「まちの駅」完成イメージ

## 6月定例会

一質問では14人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

## 問 一般質問 答

### 一般質問議員と質問項目

#### ■6月13日登壇

##### ■近藤 眞一

- 1.高齢者の貧困に関する諸問題
- 2.国民健康保険の制度変更(都道府県単体化)

##### ■八巻 善一

- 1.伊達市消防団の現況と今後の方策
- 2.田園回帰事業に本腰を

##### ■橘 典雄

- 1.健幸都市 元気づくり会・健康運動教室
- 2.霊山寺(山上)周辺の観光整備
- 3.霊山城の整備による観光

##### ■菊地 邦夫

- 1.平成29年度 伊達市事業
- 2.図書館運営事業

##### ■菅野 與志昭

- 1.本年度の放射能対策事業

#### ■6月14日登壇

##### ■大條 一郎

- 1.生涯活躍のまち(伊達市版CCRC)構想
- 2.災害時における避難所や病院等でのお湯等、飲料確保のための災害協定の推進
- 3.市民の生命を守るために、弾道ミサイル落下時の対応

##### ■佐々木 彰

- 1.高齢化社会への対応
- 2.霊山高原構想

##### ■小野 誠滋

- 1.学校統合後の跡地の外観管理と校舎活用
- 2.多面的機能支払い交付金の取り組み状況と市の農業未来の展望

##### ■丹治 千代子

- 1.「不登校」と「ひきこもり」
- 2.働く女性等応援事業
- 3.産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業

##### ■高橋 一由

- 1.A・Bエリアの追加除染と、Cエリアの除染等、今後の対策
- 2.不公平な市の側溝除染調査委員会報告
- 3.伊達市の未解決問題と市長の政治姿勢

#### ■6月15日登壇

##### ■菅野 喜明

- 1.空き家バンクと移住支援、伊達市の取り組みとCCRC
- 2.北畠頭家公生誕700年記念事業と高速道路開通に合わせた施設や事業
- 3.伊達市のふるさと納税

##### ■半澤 隆

- 1.平成25年度除染対策事業での、除染費用55.8億円返還までの経緯
- 2.月舘町御代田四番組交流館新築に関する問題点
- 3.伊達市歌CD全世帯配布と防災で感じたこと

##### ■佐藤 清壽

- 1.学校給食費
- 2.消防団なり手不足に対する支援

##### ■中村 正明

- 1.教育振興対策
- 2.危機意識
- 3.綿言汗の如し

## ■高齢者の貧困問題に関する考えを問う



近藤 眞一

**Q** 当市では、高齢者の貧困に関する問題について、どのような認識をお持ちか、見解をお示しください。

**A** 本市の65歳以上の人口は2万573人で、そのうち単身世帯の方が2687人となっています。高齢世帯の主な収入は年金で、老齢基礎年金のみが高齢者も少なくありません。特に、単身世帯においては、経済的に非常に厳しい状況にあるものと思われまます。また、生活保護受給者の約6割が高齢者世帯となっており、これも年々増加の傾向にあります。生活困窮相談に訪れる高齢者も少なくなく、高齢者の生活困窮者が潜在的に多数存在しているものと認識しています。

**Q** 満額受給でひと月に直すと、約6万5000円の老齢基礎年金ですが、この収入だけで生活していくことについて、市としてはどのような見解をお持ちか、お示しください。

**A** 自立した生活を維持することは非常に大変ではないかと思っています。また、仮に2人暮らし等で持ち家があり、米、野菜をつくっている。あるいは家族の支援があっても、加齢や病気によって医療、介護に要する費用がかさむようになる、これも老齢基礎年金のみでの生活は非常に大変だと思っています。

**Q** 高齢者の貧困に対する支援や取り組みなどについてのお考え、見解をお示しください。

**A** 福祉面からも、貧困対策は重要な課題であると思っています。現在行っている、生活困窮者の相談会や、生活保護などの財政支援、高齢者の就労支援などの取り組みを今後一層強化する必要がありますと考えています。それとあわせて、高齢者の生活困窮の実態について十分把握に努め、必要な支援策を講じてまいりたいと考えています。

## ■消防団の現況と今後の方策は



八巻 善一

**Q** 伊達市消防団の組織、充足率は。現在20分団、定数1515名、充足率85・0%となっております、伊達支団72・5%、梁川支団89・4%、保原支団88・0%、霊山支団76・6%、月舘支団94・4%となっております。

**A** 消防力整備指針の第36条の中で、総数については当該業務を円滑に遂行するために、地域の実情に応じて必要な数を定めるとしています。

**Q** 消防施設（屯所）の整備計画、積載車、ポンプ車の更新計画について。

**A** 屯所は更新基準を越えて、経年による老朽化、トイレ、休憩室の設置状況を優先順位として整備していきます。積載車は20年、

**Q** ポンプ車は22年を経過したものを基準として順次更新をしています。

**A** 伊達市消防団協力事業所表示制度の伊達市の状況について。

**Q** 認定している事業所は5事業所、所属する団員は17名です。

**A** 団員不足解消の方策として、機能別消防団員制度があるが市の考えを問う。

**Q** 現在消防団内部で制度導入に関して議論しています。市としては消防団における議論を尊重して、制度導入について検討していきます。

**A** 団員の皆さんは仕事をしながら、家族の協力のもと訓練や火災、自然災害など、いざというときに一生懸命活動されています。その団員の皆さんに「ご苦労さん」という気持ちから、割引のサービスをする「消防団応援の店」があるが制度について伺う。

**Q** 日本消防協会が取り組んでいる事業で、地元だけでなく全国の消防団員がサービスの利用ができる制度であります。市としては消防団とその家族を対象とした、伊達市版消防団応援の店というものを、市内商工会などの意向を確認しながら検討していきます。

※【機能別消防団員】 = 能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員



## ■本年度の放射能対策事業について



菅野 與志昭

**Q** 市内各地に設置をされている除染土等の「仮置き場」の現在の管理状況は。

**A** 市内には現在107カ所の仮置き場があります。週一回のモニタリング等を中心として管理を行っています。

**Q** 「仮置き場」終了後、有効な再利用方法ということで、再生可能エネルギー等の場所として取り組むことはいかがでしょうか。

**A** 地主との話し合いになると思いますが、一律には無理かもしれませんが、地主の希望があれば話し合いの中では可能とは思いますが。

**Q** 市内の学校グラウンドに埋めてある除染土の搬出を、今年度より行

う予定になつていますが、時期・方法・手順はどのようになつているのか。

**A** まだ詳細は決まっていますが、小・中学校に埋めてある除染土は、一旦取り出し、そこで詰めて集積所に運び、そこから環境省の輸送計画により中間貯蔵施設に運ばれることとなります。

**Q** 農産物の風評被害対策・PR事業について。

**A** 主な事業は「桃」のトップセールスということで、福島県くだもの消費拡大委員会の一員として、市場・行政機関の訪問・交流によりPRする予定です。また、伊達の恵みPR事業では、桃、アンポ柿を中心にランチメニュー開発・試食会の開催、物産展・企業訪問・企業マルシェ等に取り組みます。

**Q** 周辺市町との公平な除染について、議会からの申し入れ・伊達東地区町内会からの請願等、どのように対応されてきたのでしょうか。

**A** 除染の目的は、放射線防護の考えで進めてきました。線量に合わせた除染が望まれていると感じております。今後もしっかり取り組んでいきたいと思

います。

## ■生涯活躍のまち(伊達市版CCRC)構想への取り組みは!



大條 一郎

**Q** 伊達市版<sup>※</sup>CCRCについて、わかりやすくお答えください。

**A** 東京圏におきましては2025年問題、いわゆる団塊の世代が後期高齢者になるというところで、医療・介護の施設もしくは対処する人員が不足してまいります。地方では逆にこれから余裕が出てくるところもある中で、人口減で経済的にも大変になるとか、活力が失われるということから、首都圏等のアクティブシニアが伊達市に移住していただくことによつて、お互いの問題を解決するため、CCRC、生涯活躍のまち構想を進めていきたいと思

**Q** 今後のタイムスケジュールについて伺

**A** 今年度基本実施計画を策定します。具体的には高子北地区において、最速で平成30年に、造成工事を予定していると聞いています。それに合わせて実施できるように取り組んでいくこととなります。また、運営推進協議会を立ち上げて、その中で関係する医療・介護体制の話や、生きがいづくりという観点から大学の方々と、魅力的なまちをどうつくっていくかという話を、しっかりと進めていきたいと考えております。

**Q** 高子北地区周辺には高子二十境ウォーキングコースや高子沼、東北唯一のJRA競馬場など趣味を楽しめる場所もあり、大型商業施設の計画もあります。また、東京駅まで約2時間で行ける「便利ななか」であります。誘致を進めるために、このような伊達市の魅力をPRすべきと考えます。

**A** ウォーキングや、その地域の魅力とか、高子岡城跡など、歴史的な魅力というのがありますので、今ご提案いただいたものも含めて幅広く考えていきたいと思

※【CCRC】 = Continuing Care Retirement Community 継続的なケア付き退職者の共同体

## ■子どもの物語ミュージアム(仮称)とは

**Q** 伊達市第2次総合計画、豊かな心を育むまちづくりという政策の中に霊山高原構想推進事業があります。基本計画が作成され、霊山こどもの村ではスタートアップ事業として、子どもの物語ミュージアム(仮称)が始まっています。今後、この事業がどのように進められていくのかについて伺います。



佐々木 彰

**A** 平成29年度につきましては、こどもの村のサービスハウスの改修のほかに、子どもの物語ミュージアムの基本・実施設計、地質調査、また、用地造成設計及び児童館の解体工事、これらを行う計画です。その後平成30・31年度で建築工事を行い、平成32年春のオープンを予定しています。



子どもの物語ミュージアム(仮称)建設予定地付近

**Q** この施設は、どのような理念を持った施設なのか伺います。

**A** 既存の遊びと学びの次世代を育む交流施設として、子どもたちの芸術、文化、科学の聖地としたいと考えています。霊山のすばらしい風景と環境の中でゆったりと本を読み、本について研究する場所、また読むだけではなくて作家として物語をつくり、その物語を語り合う場所としたいという理念で進めています。

建物は3階建ての構造として、さまざまな工房また展示機能、カフェ等を設置することを検討しているところです。

## ■小学校統合後の敷地、校舎管理は



小野 誠滋

**Q** 閉校した5校の管理は外観的にも荒地状態になりつつあるが、管理体制について伺います。

**A** 閉校、閉園となりました小学校の施設及び幼稚園につきましては、新たな利活用の方法が定まるまで、適正な管理が必要と考えています。梁川地区の閉校5校につきましては、敷地の維持管理として、6月と9月に除草作業を予定しています。

施設や設備については、電気、浄化槽、給水、防火などの保守点検を実施します。また、施設の老朽化対策として、校舎の窓を開閉して換気を行います。必要があれば追加の除草も実施したいと思っています。

## 市の農業の未来展望について

**Q** 市は第2次総合計画や地域創生戦略、生涯活躍のまちCCRCの計画などを示していますが、基幹産業と位置付けている農業の今後の捉え方について考えを伺います。

**A** 今後に向けて、農業にどのような取り組みをするかということですが、確かに農業については、実際に先の読めない部分もあり、気象の変化に影響を受けやすい部分がありますが、基本的には農業白書にもありますように、強い農業の創造に向けた取り組みと、さらには地域資源を生かした農村の振興の活性化ということを、基本的な目標として進めたいと考えています。

農業振興の取り組みについては、担当部局でも今やるべき事は何なのか、戦略的にどういうものを重点的に展開すべきか、将来に向けてどのような取り組みをするべきか等、委員会等を立ち上げることも含めて検討してまいりたいと考えています。

## ■不登校・ひきこもりはあなたにも？



丹治 千代子

**Q** 不登校・ひきこもりは年々増加していますが、特別な子どもや特別な人に起こるということではなく、誰にでも起こり得る社会現象ではないかと思えます。その原因やきっかけは十人十色だと考えられるため、対応もその人に合ったケアやサポートが必要だと思えます。私が子ども頃は、地域全体で子育てをすることが一般的でした。現代は、地域全体で子育てをすることは稀になりました。

**A** 不登校やひきこもりの原因は、友達や家族関係などの人間関係の問題、本人の不安などの情緒的混乱、生活に対しての無力感、長時間のゲームやネット閲覧などによる昼夜

逆転等、さらには家族の過干渉、逆に保護者の無関心、このほかには、子どもの意向を尊重しすぎて、学校に行かなくても、部屋から出なくても困らない生活ができる環境を与えてしまっていることなどが原因と思われる。

**Q** 市内の小中学校における不登校の学年別の人数は。

**A** 小一はゼロ、小二が1人、小三が2人、小四が3人、小五が2人、小六が10人の計18人。中一が11人、中二が22人、中三が24人の計57人、小中合わせて75人です。

**Q** 保原町にNPO法人「みんなのひろば」というフリースクールがあり、現在25人の子どもが通っています。5年前から出席した日数は、学校出席日数としてカウントされています。

**A** 今後、行政もしっかりサポートする必要があると思います。不登校・ひきこもりの居場所づくりは。

**A** 学校では相談室、保健室、空き教室を利用したり、適応指導教室、あおば教室の利用などです。

## ■ガラスバッジの安全論文、その信頼性は？



高橋 一由

**Q** 昨年12月、市の放射能に関するアドバイザー宮崎氏・東大早野教授両氏による論文が英国専門誌に掲載されました。主な内容は、航空機モニタリングの空間線量率とガラスバッジデータの外部被ばく線量は比例しており、ガラスバッジの線量は航空機モニタリングの約0.15倍で、国が示していた数値の4分の1程度としたものです。ただし、特定の場所での係数をかけて予測できるとは言っておりません。宮崎氏は市民を安心させる材料としては使用しないよう申し入れしていたと聞きましたが、市は復興・再生ニュースで、論文を利用し、今まで国が示してきた安全とする数値より低くても安心だというような内容を掲載し

ました。除染を実施しないことを正当化するためと思われるが、答弁を求めます。

**A** このような研究結果があること、市民の不安解消のために掲載を判断したものです。

**Q** 論文の分析を、東大物理学科卒・現高エネルギー加速器研究機構名誉教授黒川眞一氏に依頼したところ、過小評価が多く被ばくがゼロという有り得ないグラフの掲載等、論文としてはかなり不備があることが判明しました。市の見解を伺います。また、平成27年2月にガラスバッジ管理業者が論文作成者にデータを渡す承諾書に、「費用がかさんだ場合も支払いを承諾して欲しい」とあり、市は了解書類を作成し応じています。除染しない根拠集めのため資料を提供し、論文作成を依頼したとも考えられますが、答弁を求めます。

**A** 論文は市に責任は無いです。また、依頼したとか、そういうことはございません。未来に役立たせるためなので、ご理解いただきたい。



## ■北畠顕家公生誕700年とICの名称を「国府靈山」に



菅野 喜明

**Q** 平成30年には、北畠顕家公生誕700年を迎えます。どのような事業を計画しているのか伺います。

**A** 北畠顕家公ゆかりの地域と連携し、シンポジウムや講演会など実行委員会設置も含め、庁内で検討しています。

**Q** 千葉県香取市にある善雄寺には、旧靈山寺から運ばれたとされる阿弥陀如来像があります。生誕700年にあたり、なんらかの交流ができないか伺います。また、「靈山」は発掘すれば、現在の史跡名勝から陸奥の国府であった多賀城と肩を並べる特別史跡に昇格し県民統合の象徴となるだろう」と福島県考古学会の鈴木啓元会長も指

摘しています。せめて試掘はできないか伺います。

**A** 平成21年から、靈山寺や靈山町郷土史研究会により、善雄寺との交流が進んでいます。今後、交流が深まるように市として支援してまいります。また、発掘に関しては、保存活用計画の策定など発掘体制の構築を検討します。

**Q** 生誕700年にちなみ、また歴史・観光のPRのためにも、現在、建設が進められている相馬福島道路のインターチェンジの名称として、陸奥の国府であったことを鑑み「国府靈山」にできないか伺います。

**A** 名称は国が決めることですが、地名とともに、靈山を表現する言葉が入ると良いので、国に意見を申し上げます。



善雄寺の阿弥陀如来座像

## ■除染費用55億8000万円返還について

**Q** 議会報告会でも、市民の方から近隣の福島市、桑折町、国見町で宅地の全面除染をしているのに、なぜ伊達市はやらぬのかというお話ができました。そのような中、除染費用55億8000万円が返還されたことが明らかになりました。そこで、除染費用の申請から返還までの一連の経緯について伺います。

**A** Aエリアの申請日は平成24年4月1日で、金額は168億3400万円、Bエリアは平成24年5月31日で、金額は120億6900万円、Cエリアは平成25年4月1日で、金額は64億577万円です。

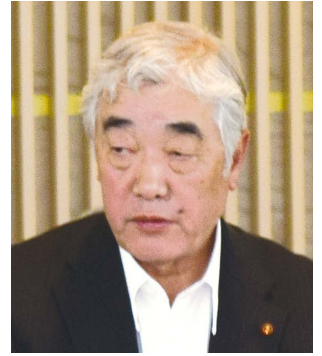
交付決定日は、Aエリアは平成24年5月30日、Bエ

リアは平成24年7月18日、Cエリアは平成25年6月28日で、交付決定金額は申請金額と同額です。除染完了期日はA・Bエリアとも平成26年3月31日で、Cエリアは平成26年3月24日になっています。減額変更申請日と金額ですが、Aエリアは平成26年1月30日で、マイナス17億8000万円。Bエリアは平成26年2月18日で、マイナス36億円。Cエリアは平成26年2月17日で、マイナス56億円になっています。なぜ、莫大な金額の差異が生じたのかとの理由ですが、除染申請当時は、除染についての詳細なやり方が決まっていなかった中で、設計を組まなければならないことが、国・県から、単価も示されてなかったことで、仮の単価で計上したこともありました。その他に、当初は仮置き場ということで、申請額の内の20億円ほどを仮置き場の費用として申請したため、金額が過大だったと考えています。



半澤 隆

## ■学校給食費補助の考えを問う



佐藤 清壽

**Q** 本市の小学校及び中学校の児童生徒数、一食単価と食材費の収支を伺います。

**A** 小学校の児童数は2619人、中学校の生徒数は1641人、これに対して給食の提供数、これは児童数に教職員などを加え、小学校については2909食、中学校については1781食となっています。一食当たりの単価は、小学校は273円、中学校が315円です。食材の収支は保護者からお預かりをする給食費が、材料費に全額充当され、各給食センターとも収支の均衡は保たれています。

**Q** 就学援助を受けている児童生徒数と、年間の給食提供数を伺います。

**A** 本年の5月末現在の就学援助の認定者数は、小学校で211名、中学校で174名、合計385名でこれに対する給食提供数も同数です。

**Q** 就学援助では給食費が支給されますが、就学援助を受けるためには、なかなか高いハードルがあります。親などと同居すれば所得が合算されて支援が受けられないことが実態としてあり、給食費補助の必要があります。既に県内16の自治体が、独自に給食費の保護者負担の軽減を行っています。全額無料が会津の金山町、そして半額補助が隣の川俣町、一部負担が桑折町などです。

**A** 食育と子ども貧困の観点から、給食費支援への見解をお示しくください。

**A** 本来ならば義務教育でありますので、給食も国の施策としてやっていただければと思うところです。

**Q** 市の未来への投資として、子育て支援からも給食費の補助実施の検討ができませんか、市長にお伺いします。

**A** 広い意味での子育て支援の中で検討してまいりたいと思っています。

## ■りんげん 論言汗の如し



中村 正明

**Q** 仁志田市長は、平成27年にある月刊誌のインタビューで、「私の公約であるにかかわらず、全面除染をしてほしい」という市民の皆様のお気持ちもあるのですが、全面除染だけでは解決しない問題もあります。全面除染をしても現実問題として孫が帰ってくる保証はない。これは広い意味での風評被害なんですね。孫が帰ってこないという祖父母の悲しみはそこにあって、そこをどうクリアするかがこれからの課題です。」と答えています。

**A** それは市民が納得できる除染が行われてから、言えることではないか。どのようになりアされるのか伺います。

**A** 総合的、現実的に考え、我々伊達市が

放射能対策としてとっていることは間違っているとは思いません。何とか心の不安をどうすればいいのか努力してまいりたいと思います。

**Q** 大事なことは、今起きていることに謙虚に向き合い、可能な限り放射線被ばくを最小限に抑えること。

平成26年の市長選において、市長は「Cエリアも除染して復興を加速。安心して歳がとれ、子育てのできる町をつくるのが伊達市の課題。市民目線に立ち、市民が安心できる除染を行います。皆様を目標すところにお連れするのがライフワーク」と明言しております。

あれから3年4カ月経過。現在も市民は不安を抱え、不公平感を感じながら生活しています。漢書の中に「論言汗の如し」とあります。一度体から出た汗は戻らない。一度言った言葉は責任が伴うというものです。有言実行こそ求められていることではないでしょうか。

**A** 「論言汗の如し」ですか。大変立派な言葉を聞かせていただきました。私は伊達市民のために、一生懸命やっておりますのでご理解をいただきたいと思っています。

放射能対策としてとっていることは間違っているとは思いません。何とか心の不安をどうすればいいのか努力してまいりたいと思います。

## 国への要望活動

福島市・米沢市・相馬市・伊達市で構成される4市の議会連絡協議会は、去る7月25日に東北中央自動車道（相馬～伊達～福島～米沢間）の整備促進について、国土交通省福島河川国道事務所、国土交通省磐城国道事務所へ要望活動を行いました。

### 【要望内容】

- ①今年度中に復興支援道路相馬福島道路（相馬玉野 I C～（仮称）霊山 I C間）、及び東北中央自動車道（福島～米沢～米沢北間）を確実に開通すること。
- ②復興支援道路相馬福島道路のうち、平成30年度以降の開通目標が公表されている区間については、一日も早い開通を図れるよう事業を促進すること。
  - 平成30年度 相馬 I C～相馬山上 I C間
  - 平成32年度 （仮称）霊山 I C～（仮称）福島保原線 I C  
（仮称）国道4号 I C～（仮称）福島北 J C T
- ③復興支援道路相馬福島道路で唯一開通目標が明らかになっていない（仮称）福島保原線 I C～（仮称）国道4号 I Cの開通目標を早期に公表すること。
- ④平成30年度の予算措置においては、相馬福島道路をはじめとする真に必要な高規格幹線道路の事業を推進するため、所要の予算を確保すること。



国土交通省福島河川国道事務所長に要望書を手渡す安藤喜昭議長（左）

## みなさんからの請願・陳情

6月定例会で審査したのは、請願6件、陳情2件の合計8件でした。所管の委員会に付託して、委員長が本会議で審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決まりました。なお、請願第5号は請願者の意向で取り下げられました。

受理番号	請 願 件 名	請 願 者	採決の結果
第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	日本労働組合総連合会福島県連合会 伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採 択 (産業建設常任委員会)
第2号	「慎重な憲法論議を求める意見書」の提出を求める請願書	社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫	趣旨採択 (総務生活常任委員会)
第3号	「政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書」の提出を求める請願書	I女性会議伊達支部 議長 菅井 ハルヨ	趣旨採択 (総務生活常任委員会)
第4号	「ライドシェアの導入に反対し、安心・安全のタクシーを求める意見書」の提出を求める請願書	社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫	不 採 択 (総務生活常任委員会)

受理番号	請 願 件 名	請 願 者	採決の結果
第6号	「労働基準法等改正案（閣法）の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫	不 採 択 (産業建設常任委員会)
第7号	「テロ等準備罪（共謀罪）法」案の廃案を求める意見書の提出を求める請願について	新日本婦人の会 伊達支部 支部長 堀江 ミヨ子	不 採 択 (総務生活常任委員会)
受理番号	陳 情 件 名	陳 情 者	採決の結果
第2号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 外1名	採 択 (文教福祉常任委員会)
第3号	赤坂の里森林公園管理棟再建計画について	金原田区長 長澤 壽一 外27名	趣旨採択 (総務生活常任委員会)

※議長（安藤喜昭）は採決に加わらない ※会派名の省略 共産↓日本共産党伊達市議団

議決結果	賛成・反対	無会派		共産		チーム志民		創志会		志政クラブ				「きょうめい」		フォーラム伊達		議案等						
		半澤	中村	丹治	佐藤	近藤	菅野	佐藤	菊地	佐々木	大和田	橘	大橋	松本	原田	清野	熊田		小野	八巻	高橋	菅野	滝澤	吉田
可 決	賛成16：反対6	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	●	●	○	○	○	○	議案第47号 平成29年度伊達市一般会計補正予算（第1号）
不 採 択	賛成3：反対19	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	請願第4号 「ライドシェアの導入に反対し、安心・安全のタクシーを求める意見書」の提出を求める請願書
不 採 択	賛成3：反対19	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	請願第6号 「労働基準法等改正案（閣法）の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

## 6月定例会賛否一覽表

# 『公表します 政務活動費』

本市では、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、議員一人当たり月額3万円の政務活動費を所属の会派（会派に所属しない場合は議員）に交付しています。

その収支については、毎年度議長に報告し、残額がある場合は、市に返還しています。

平成28年度の収支状況は次のとおりですが、収支報告書の内容については市議会ホームページにも掲載しています。

また、9月以降、収支報告書の写しは議会図書室で閲覧できますので、議会事務局までお問い合わせ下さい。

## 平成28年度 政務活動費精算一覧表

(単位：円)

会派名	フォーラム伊達	[きょうめい]	日本共産党伊達市議団	志政クラブ	創志会	チーム志民	無会派	無会派	無会派		
会派構成	滝澤福吉 吉田一政 大條一郎	八巻善一 高橋一由 菅野喜明	佐藤清壽 近藤眞一	清野公治 大橋良一 松本善平 原田建夫 熊田昭次 小野誠滋	佐々木彰 大和田俊一郎 橘典雄	佐藤実 菅野與志昭 菊地邦夫	丹治千代子	半澤隆	安藤喜昭	合計	
収入内訳	交付額	1,080,000	1,080,000	720,000	2,160,000	1,080,000	1,080,000	360,000	360,000	360,000	8,280,000
	利子	12	9	2	24	9	8	13	1	7	85
会派の収入合計		1,080,012	1,080,009	720,002	2,160,024	1,080,009	1,080,008	360,013	360,001	360,007	8,280,085
支出内訳	研修費	268,728	479,396	163,800	314,156	220,440	357,674	0	222,276	58,138	2,084,608
	調査研究費	0	143,046	0	853,727	15,378	65,052	0	43,679	0	1,120,882
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	32,400	217,306	0	10,368	19,440	16,486	0	9,024	0	305,024
	広報費	0	0	449,646	0	0	0	0	0	0	449,646
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務諸費	0	29,406	0	119,232	0	0	0	0	0	148,638
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
会派等の支出合計		301,128	869,154	613,446	1,297,483	255,258	439,212	0	274,979	58,138	4,108,798
収支差引額 (市への返還額)		778,884	210,855	106,556	862,541	824,751	640,796	360,013	85,022	301,869	4,171,287

※1 無会派 中村正明議員は、政務活動費の交付申請を行っていないため、掲載されておられません。

### 【政務活動費使途基準】

研修費	・研修会・講演会の開催に要する会場費、講師謝金等の経費 ・研修会・講演会の参加に要する会費、旅費等の経費
調査研究費	・先進地調査又は現地調査に要する旅費、調査委託に要する経費
要請・陳情活動費	・要請・陳情を行うために要する旅費、印刷製本費等
会議費	・会派（会派に所属しない議員）が行う会議の開催に要する会場費 ・他の団体が開催する意見交換会等会議の参加に要する会費、旅費等の経費
資料作成費	・会派（会派に所属しない議員）が行う活動に必要な資料の作成に要する印刷費、写真代、消耗品等の経費
資料購入費	・会派（会派に所属しない議員）が行う活動に必要な新聞、図書、雑誌等の購入費
広報費	・調査研究活動・議会活動及び市の施策等の広報活動に要する印刷費、会場費等の経費
広聴費	・市民からの市政に対する要望・意見を聴取するための会議開催に要する会場費、資料印刷費等の経費
事務諸費	・パソコン等の事務機器リース・購入、事務消耗品等の購入、通信等に要する事務経費
その他経費	・上記以外で会派が行う活動に必要な経費

# 第14回 議会報告会

第14回の議会報告会は、7月3日から11日までの間に、旧町単位の5か所で開催しました。今回は、全ての会場に全議員が出席し、会場（地域）ごとに「テーマ」を設け意見交換を行いました。出席された市民の方々から様々なご意見等をいただきました。その中から代表的なものを「Q&A方式」と「市政要望事項」として掲載します。大きな課題は、議会政策討論会で解決策等を検証します。

7/3

梁川地区(梁川中央交流館)  
テーマ「市役所分庁舎の利活用」ほか

市民参加  
22名

**Q** 今回の議会報告会での「議員定数等議会改革特別委員会報告（概要）」では、費用弁償と政務活動費について、結論が示されています。どのように報告しましたか。

**A** 特別委員会の報告書では、「費用弁償と政務活動費について結論には至らなかったが、今後も継続して調査する」と報告しています。

**Q** 子どもの数の推計から小学校の廃校が容易に推測できたことから、五十沢小学校や栗野小学校に体育館をすることに私は反対していました。なぜ建設されたのか、議会ではどう判断したのですか。

**A** 改築前の栗野小学校校体育館は、昭和28年に建築されたもので、バレーボールスポーツ少年団やママさんバレーなどで使用されていましたが、天井が低かったことから、建て替えの要望が地元からあったものです。小学校の体育館は児童のためだけでなく、地域のために使われるものと判断しています。

**Q** 議会報告会は、その内容が事後報告であれば意味がないと思います。



7月3日 梁川中央交流館

例えば「まちの駅」の計画が決まる前に、市民の意見を聞いてもらえる機会を設けていただきたいと思います。

このような集まりに最近若くは若い人が集えるようにしてください。

**A** 議会報告会では、市民の方々から様々なご意見を聞くことができ、大変勉強になります。今後は、高校生などのほか、若い人の意見や特に女性の意見を聞く機会を設けていきたいと考えています。

**Q** 廃校となった小学校跡地の管理や校庭の草刈りなどは地域で行うべきではないかと思います。

**A** 現在、市では閉校した5校について、官民連携サウンディング調査を行っており、跡地の利用が決まるまでは、周囲の草刈りも含めて、教育委員会の管理下で行うこととしています。

**Q** 市役所本庁舎が増築された後の梁川庁舎の利活用は課題です。老朽化している梁川中央交流館を梁川庁舎に移し、跡地を梁川小学校の校庭にすればよいと思います。

**A** ご意見は市当局に伝えます。

**Q** 自主防災組織の会合で、消防団から、「消防団OBであっても、消防車を

使ってはいけない」と言われました。防災の観点からも、団員が勤めている日中に、もし火事が起きた時でも、手をこまねいて見ていることがない様にしたいです。

**A** ご意見は市当局に伝えますが、6月議会では、「消防団OBが消防車を使うことは、危険を伴う活動であり、万が一負傷等をした場合に補償されないことから、使用することはできない」との答弁でした。

しかし、能力や事情に応じて特定の活動を行う機能別消防団を設置する方法もあることから、市へ働きかけを行うことも考えます。

7/4

伊達地区(伊達福祉センター)  
テーマ「伊達小学校の改築」ほか

市民参加  
34名

**Q** 学校給食センター建設事業費を10億5千万円ほど増額補正していますが、総事業費はいくらなのですか。また、工事が遅れているようですが、それが原因の増額補正なのですか。議会はどのように対応していますか。

**A** 学校給食センター建設事業の総額は、約21億3千万円です。

今回の増額補正は、予定されていたもので、工事が遅れているものの、それが原因で補正を

したものではありません。総事業費を変更せず工事を進めたいと議会では確認しておりますが、今後も注視をしていきます。

**Q** 買い物弱者への対策と利を思っています。議会ではどのように考えていますか。

**A** 現在、政策討論会において「高齢者の免許返納」に関する解決策の検証の中で移動スーパードについても研究を行っています。

**Q** 議員報酬の改定案が提示されていますが、議員活動を懸命にすれば、報酬を引き上げることには賛成です。

**A** ご意見として受けとめます。

**Q** 伊達市が合併して10年になりますが伊達地域では何も変わっていません。子どもの遊び場も少なく、他の町に行くなどして遊んでいます。もっと楽しい伊達地域にして欲しいです。

**A** 伊達地域で室内子ども遊び場の建設計画を進めています。

**Q** 伊達小学校の改築について、計画の段階から多くの市民の声を反映させていたきたいです。

**A** スケジュールでは、検討委員会を設置する予定となっております。ご意見は市当局に伝えます。



7月4日 伊達福祉センター

**Q** 熱田神社前の小学生が通う通学路には、灯りが少なく、暗いです。また、国道399号の伏黒と上保原境も暗い通りです。防犯灯を設置してください。

**A** 調査の上、要望は市当局に伝えます。

7/5  
保原地区(保原中央交流館)  
テーマ「地域自治組織づくり」ほか  
参加市民 24名

**Q** 議員活動は、各議員それぞれであると思います。また、次世代に引き継ぐために、また、議会の機能を高めながら、市民と一体になって議会活動をしつかり行うためにも議員の報酬を引き上げることによって、充実した活動をされるよう望みます。

**A** 議員報酬等の引き上げ案を示した報告についてご理解をいただいたこと、さらに、議員活動に関する貴重なご意見もいただき、ありがとうございます。

**Q** 議会報告会での意見・要望は市と議会で共有していると思いますが、なぜ「議会だより」に掲載されないのか伺います。

**A** 報告会后、ご意見ご要望については報告書を作成し、議長へ提出しています。

**Q** 相馬福島道路の用地買収が遅れているのではないかと聞いています。期日までに開通できるのでしょうか。

**A** 宅地に関する部分で買収が大変なところもありましたが、予定通り進んでいると聞いています。

7/10  
霊山地区(霊山中央交流館)  
テーマ「少子化対策」小学校統廃合」ほか  
参加市民 29名

**Q** 地域自治組織は必要としますが、旧保原町内の組織化が遅れています。議員からみて要因は何と考えていますか。

**A** 対象地域が広域なため、地域自治組織の立ち上げが難しいのではないかと考えています。町内会長会では協議をされており、10月を目途に組織化を進めていると聞いています。

**Q** 地域自治組織の立ち上げの議論がなされています。町内会で検討してほしいとの市の意向が強いようなので、まず、市当局において、組織づくりのたたき台を示していただ

**A** 主要なご意見ご要望は、議会だより「ほっとだて」に掲載しております。また、必要に応じ、市長あて要望書を作成提出するほか、個別に回答をさせていただく場合もあります。

きたいと思っています。

**A** ご要望は市当局に伝えます。

**Q** 地域通貨についてはポランティアに使うことが可能なのですか。モデル地区を設けて事業を始めること示されていますが、是非、この事業は早急に進めることを要望します。また、事業の取組み内容についてお聞かせください。

**A** 現在「モデル地区」を選定して、事業を始めることとされています。平成30年4月以降は全域で実施したい考えのようです。ポランティア作業の単価の設定など、様々な問題点の洗い出しを行いながら検討を進めているようです。

**Q** ため池等放射性物質対策事業として、350万円

**A** 現在「モデル地区」を選定して、事業を始めることとされています。平成30年4月以降は全域で実施したい考えのようです。ポランティア作業の単価の設定など、様々な問題点の洗い出しを行いながら検討を進めているようです。

**Q** 条例改正で議員定数を4減しましたが、定数削減で「地域の声が届かなくなるのでは」との議論にはならなかったのでしょうか。

**A** 定数削減によるご懸念については、定数減しながらも民意を市政に反映し、その効果を発揮することができる定数を検討する中で、議員数22人を導いたものです。

**A** 議会では「次代を担う若い世代に市政を託したい」との思いで議論し、その中から報酬モデルによる引上げ案を提示したもので



7月5日 保原中央交流館

**A** 事業内容は、小国地区のため池において、除染の実証実験を行うこととしています。今後は、この実証等て方法を確立し、ため池除染を進めるよう市当局に申し入れます。

**A** 定数削減によるご懸念については、定数減しながらも民意を市政に反映し、その効果を発揮することができる定数を検討する中で、議員数22人を導いたものです。議会では「次代を担う若い世代に市政を託したい」との思いで議論し、その中から報酬モデルによる引上げ案を提示したもので

す。報酬増額の費用は、定数減の削減額の約半分分で充てること  
ができますのでご理解ください。  
**Q** 政策討論会で高齢者の  
足の確保を検証されてい  
ますが、学校が休みの日に部活  
動に通う生徒の通学手段につ  
いては政策討論会で検討されて  
いるのでしょうか。

**A** 高齢者だけでなく、児  
童・生徒の足の確保につ  
いても、次回の討論会で考え  
ていきます。

**Q** 議員報酬引上げは地域  
での関心が高いです。今  
後、議員報酬を改定する場合  
の進め方をお聞きます。

**A** 議会報告会での意見を  
集約して方向性を示したい  
と考えています。今後も、さら  
に議会の中で議論を行っていき  
ます。

**Q** 買い物弱者に対する手  
立てを考慮していますか。



7月10日 霊山中央交流館

また、まちなかタクシーで他  
町に行く場合、乗り換えがある  
ので不便と感じています。  
**A** 移動販売、コンビニ、  
スーパリーの宅配サービス  
の利用についても研究課題とし

て政策討論を行っています。  
また、デマンドタクシー、公  
共交通などとの連携を今後の政  
策討論会の中で検証を行って  
いきます。

## 霊山地域での小学校統廃合に関する意見

### 反対

小学校統合には反対です。学  
校はその地域の文化センターで  
あり、学校が持っている諸々の  
文化を勘案していただきたいで  
す。統合する場合にあつては、  
PTAや地域役員の意見だけで  
なく地域住民の意見を聴くべき  
であると思います。

### 賛成

小学校統合には賛成です。適  
正規模で集団行動を学ぶことが  
出来ると考えるからです。ま  
た、廃校となる学校の維持費を  
統合校に回して使うことで、よ  
り良く教育環境を高めた学校で  
学ばせる事が出来ると思うから  
です。

小学校統合は拙速に進めるべ  
きではありません。これまで学  
校は、歴史的にも教育と文化に  
貢献してきました。統合の話し  
合いは、地域の子どもが主役で  
す。保護者OBも含めて話し合  
いを持ってもらいたいです。

小規模校に関しては、地域の  
方々や保護者の責任で統合を進  
め、掛田小学校を立派に改築し  
てあげなければならぬと思  
います。

## 7/11 月館地区(ふるさとふれあいホール) テーマ「小中一貫校について」ほか

市民参加  
13名

**Q** 議員報酬増額が提示さ  
れています、これが適

正なのか判断できません。

**A** 報酬改定案は、議員活  
動実態に基づく報酬換算  
モデルなどを用い、検討を重ね  
た結果として提示したもので  
す。

**Q** 政策討論会で高齢者の  
交通手段を議論されてい  
ますが、近隣市町に比べ伊達市  
の対応が遅れているのではない  
でしょうか。早急に手立てを講  
じてほしいです。

**A** ご要望、ご意見として  
受け止めます。政策討論  
会での検証等を速やかに進め結  
論を導く対応をいたします。

**Q** 昨年12月に提出した  
「館ノ腰地区と上ヶ戸地  
区を結ぶ道路新設等に関する請  
願書」は、継続審査を経て、3  
月定例会でなぜ趣旨採択した  
のですか。

また、これは一昨年の豪雨で  
は大きな被害になる寸前だった  
ことから請願として提出したも  
のです。近年の豪雨災害等を勘  
案し、今後の政策を考えてくだ  
さい。

**A** この請願は、橋の新設  
と道路新設の趣旨で提出  
されています。現地調査等行  
い慎重に審査しましたが、この事  
業には多額の費用が見込まれ、  
早急な事業推進は困難であると  
判断しました。よって趣旨採  
択としたものです。



7月11日 ふるさとふれあいホール

**Q** 前述の請願について  
は、水害対策としての橋  
の新設と通学路を確保するため  
の道路拡幅新設を分けて考え  
てください。特に、河川のこと  
については重点的に考慮してく  
ださい。

**A** ご意見は市当局へ伝  
えます。

**Q** 仮置き場へ住民が知ら  
ないうちに重機が置か  
れ、作業が行われていました。  
このようなことは着事前に地域  
住民への説明をすべきです。今  
後も中間貯蔵施設への搬出等が  
あることから、住民が不信任を  
抱かないようにしてください。  
議会からも市当局へ伝えてくだ  
さい。

**A** ご意見は市当局へ伝  
えます。



# 市民からの要望のうち、主なものについて市長あて文書を提出しました。

## ◆放射能対策・復興関係

- ①仮置き場から放射性廃棄物を搬出する際には、事前に地域に説明を行うなど住民が不信を抱かないように対処していただきたい。(月舘)
- ②ため池等の除染については、放射性物質対策事業による実証実験により、除染方法を確立させ着実に進めていただきたい。(保原)

## ◆防災対策・安全関係

- ①現在、消防団員でも会社勤務が多くなっている中で、団員不在の場合でも危機管理上の備えを万全にするとともに、防火・防災の観点から消防団退団者の活用や機能別消防団を設置する方法等も検討いただきたい。(梁川)
- ②防災行政無線で行っている試験放送について、「聞き取りづらい」「うるさく感じている」などの意見がありました。状況を調査するとともに、万が一の場合に市民が適切に対処できるようにしていただきたい。また、なりすまし詐欺の防止啓発や行方不明者の搜索情報、火災情報等を放送するなど有効活用していただきたい。(伊達、靈山)

## ◆道路関係

- 通学路に防犯灯がなく暗いなど、防犯灯を早急につけてほしいとの要望がありました。実情を調査するなどして対処していただきたい。(伊達)

## ◆市民協働・まちづくり・地域づくり関係

- ①「市の経営に関する説明会」を行政推進員だけに限定して開催するのではなく、一般市民も参加できるようにしていただきたい。(梁川、保原)
- ②市役所本庁舎増築後の梁川分庁舎の利活用は、地域活性化に資するものとして検討していただきたい。(梁川)
- ③地域自治組織を立ち上げる議論を進めるため、組織づくりのたたき台となる案を示していただきたい。(保原)

## ◆環境関係

- 遠くの集積所へごみを運ぶことが困難な一人暮らしの高齢者世帯が多くなってきています。何らかの対策を検討していただきたい。(伊達)

## ◆教育関係（小学校統合含む）

- ①廃校となった小学校の利活用が決まるまでは、跡施設の管理や敷地の草刈りなどは地域で行うことも含め検討していただきたい。(梁川)
- ②伊達小学校の改築について、計画の段階から多くの市民の声を聞き反映させていただきたい。(伊達)
- ③靈山地域における小学校統廃合に関して、賛成・反対様々な意見、要望等がありました。統廃合の是非については、地域の方々と十分話し合いを行い、合意形成を行い理解を得たうえで進めるようにしていただきたい。(靈山)

## ◆農林業関係

- ①イノシシによる農作物被害が多発しています。報奨金を上げるなど、イノシシ駆除対策を強化していただきたい。(保原)

# 独眼流

## 峠の茶屋から見える景色は

伊達市霊山町 樋口 高志



2008年当時、私たち夫婦は、地面に近い暮らしを求めて福島県内で移住地を探し求めて歩いていました。  
農的な暮らしと小さな飲食店と宿ができる様な静かで環境が良く、きれいな水があり、裏山、農地と住居が道路を隔てずにひとまとまりになっている所という、少々贅沢な条件にかなう土地を真剣に探していたのです。でもそんな所は、なかなかないんですよ。私の土地探しも煮詰まりかけていたその時、出会ってしまったのです。理想の場所に！それは田舎暮らしの物件が得意な不動産屋さんの紹介でした。「いやあー探せばあるものなんですよ」という訳で霊山町小国地区に2009年、すんなり移住ときました。ところが、そこは問屋が卸しません。宅地に古い家が付いていたのですが、古いところも築200

年以上です。「普通直さないですよ。江戸時代の家。」でも普通が嫌いな私、家の改修に着手。その後2011年3月原発事故当時、母屋は床、壁を取り払った状態で、仮小屋に暮らししていました。で、一時米沢市へ避難し通いながら地元の方々にお手伝い頂き工事を進め、夏の日には壁土を練り泥壁を塗り、梁を磨き、5年かかってしまいました。が、2014年自宅兼店舗が完成し峠の茶屋を開店、もうすぐ丸3年になります。原発事故で止めていた宿の開業準備を進めています。きっと県外、海外の方も喜んでくれるでしょう。伊達は良い所ですよ。魅力を発信できる様な場所に育てていきたいなあ。」と思っております。皆さんも日々感じていますよね、「伊達はいいところだなあ。」ってねー！

## 表彰状、感謝状が

## 贈呈されました

全国市議会議長会

5月24日東京国際フォーラムで開催された第93回全国市議会議長会総会において、地方自治の発展に寄与した功労により本市では議員2人が表彰されました。

6月定例会初日(8日)の開会に先立ち表彰状の伝達が行われました。

ほかに、全国市議会議長会の評議員を務めた安藤議長には感謝状が贈呈されています。



吉田一政議員(左) 高橋一由議員(右)

### 議員在職20年以上

吉田一政議員

(伊達町議18年8カ月、伊達市議11年)

高橋一由議員

(伊達町議18年5カ月、伊達市議11年1カ月)  
※町議の期間は1/2の期間で通算されます。

## 編集後記

九州北部豪雨災害で亡くなられた方に、謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

福岡県朝倉市の山間部では、観測史上最大級の集中豪雨を記録するなど、九州北部一帯に甚大な被害をもたらしました。一昨年の関東・東北豪雨では、伊達市も大きな被害を受けましたが、それをはるかに上回っています。

昨今の異常気象は、今までの経験や想定では対応できない規模や速さで襲ってきます。日頃から避難の具体的な方法や、安全に避難するためのルートなどを分かるようにしておきたいものです。今までは違うと感じたら迷わずに避難するなど、早目の行動で自分の身を守りましょう。

### 議会広報委員会

委員長	菅野 喜明
副委員長	近藤 眞一
委員	中村 正明
委員	大條 一郎
委員	佐藤 彰実
委員	佐々木 彰

## 9月定例議会の予定

○8月31日(木)午前10時に  
招集される予定です。